

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

独立行政法人国立病院機構東広島医療センター

(2) 事業所の所在地

広島県東広島市西条町寺家513

(3) 業種

8311 一般病院

(4) 事業所位置図 別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成29年度を基準年度とし、平成30年度から令和4年度までの5年間とする。

3 計画の基本的な方向

1 基本的な考え方

当院は、当院の理念である「いのちの尊厳と人間愛に根ざした、誠実で親切な患者さん中心の人にやさしい、癒しの持てる医療」をおこなう活動の中で、地球環境の保全を常に考慮し、豊かな社会環境の実現に貢献します。

また、関連する法令を遵守するとともに、多職種の人々との良好な協力関係のもと、地域社会への奉仕に努め、組織的継続的な環境改善と汚染予防を推進します。

2 基本方針

- 省エネルギーの推進
- 省資源化の推進
- 廃棄物の適正管理・減量化の推進
- 職員への環境教育の実施

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成29年度	平成30年度
二酸化炭素	5,725	5,138

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成 年度	平成 年度
二酸化炭素	—	—

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成 年度	平成 年度
メタン	—	—
一酸化二窒素	—	—
その他 温室効果 ガス (HFC PFC SF ₆ NF ₃)	—	—

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成29年度)		削減目標		目標年度 (令和4年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)	
エネルギー起源CO2	5,725	5.0	285	5,440	
非エネルギー起源CO2				0	
メタン				0	
一酸化二窒素				0	
その他 温室効果ガス				0	
温室効果ガス 実排出量総計				0	
温室効果ガス みなし排出量		-		0	
目標設定の考え方	エネルギー起源CO2について基準年度ベースで年1%の削減率とする。				

※ 削減率(b) = (c)/(a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

単位：排出量(t-CO₂)，原単位量(kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)			原単位 削減目標	目標年度 (平成 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO2				#VALUE!			
非エネルギー起源CO2				#VALUE!			
メタン				#VALUE!			
一酸化二窒素				#VALUE!			
その他 温室効果ガス				#VALUE!			
総排出量				#VALUE!			
エネルギー消費原単位 (原油換算 k l)	-	-		0.0	-	-	
目標設定の考え方							

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1	電気使用量の削減	電気の使用量を目標年度迄に6%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・冷暖房温度の適正管理 ・不要な照明、空調の停止を徹底する ・空調フィルターの清掃による効率化 ・遮熱フィルム施行 ・エアコン室外機へ散水装置取付 ・エアコン集中制御（ピークカット）
2			
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1		
2		
3		

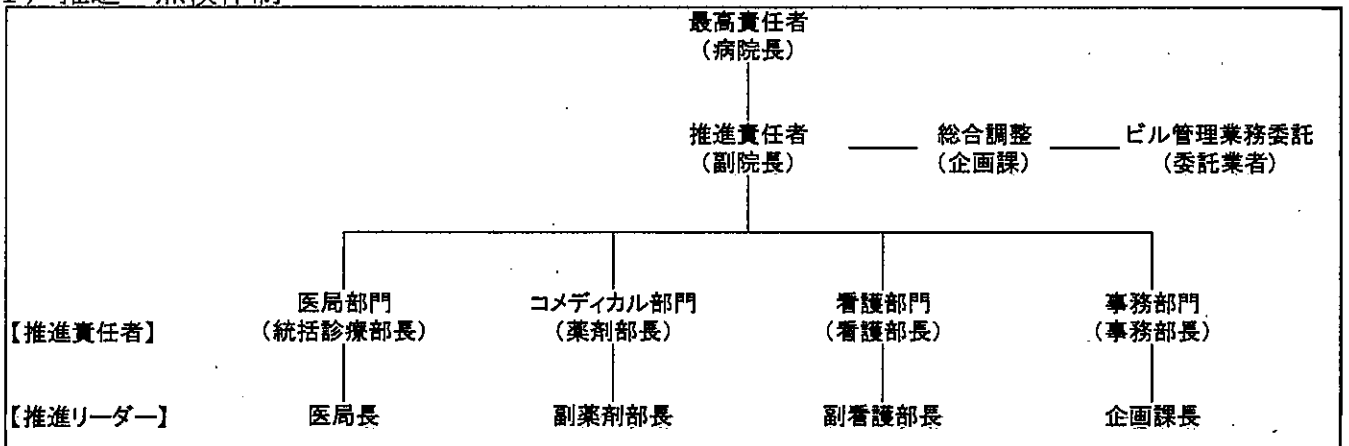
○ その他の取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1	廃棄物排出量の削減	—	<ul style="list-style-type: none"> ・事務用紙の両面コピー、裏面利用の励行 ・ごみの分別収集および資源化の徹底
2	自動車使用燃料の削減	—	<ul style="list-style-type: none"> ・アイドリングストップの実施 ・定期的な点検と整備の実施
3	その他	—	<ul style="list-style-type: none"> ・環境報告書の発行 ・職員への環境教育の実施

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

本計画の点検・評価は、独立行政法人国立医療機構本部総務部広報文書課において実施し、当院および中国四国グループ事務所の協力のもと行われる。

また、本計画の期間中、毎年度、実施状況について調査を実施し、その状況および技術の進歩を踏まえ、必要に応じて本計画を見直すものとする。

(3) 計画書等の公表

独立行政法人国立医療機構の発行する環境報告書などにより公表する。
また、事務所へ備え付けて閲覧可能にする。